# 説明的文章　接続語の捉え方

　他人を羨ましいと感じるときがある。羨ましいなどと思ってはいけないと言う人もあるが、このような感情は勝手に生じてくるので、いかんともし難いものである。それはいけないというので、一所懸命に抑えこもうとしたり、羨ましいなどと感じる自分は悪い人間であると、自分を責めたり、※卑下したりして、余計に問題を大きくしてしまう人もある。

　羨ましい気持が起こったら、それは自然に生じてきたことだから、よしあしを言う前にそれはそれと認めることにしよう。そして、いったいそれがどのあたりから来ているか、考えてみることにしてはどうだろう。あんがいなことが見つかるものである。

　羨ましいというのは、物にしろ能力にしろ、ともかく自分の持っていないものを他人が持っている、というところに生じてくる感情である。[　]、自分の持っていないものを他人が持っているときに必ず生じるとは限らないところに、その不思議さがある。

（　）、自分は数学の才能が無いときに、知人のなかに数学のできる人が居たとする。そんなとき、別にそれだからと言って、何も感じないときもある。つまり、自分の生きてゆくこととあまり関係がないのである。また、その人を尊敬することもある。羨ましいと感じるよりも、偉い人だと感じて尊敬の気持が湧いてくる。このような場合のことを考えると、羨ましいというのは、他人が何か自分の持っていないものを持っているという事実にプラスされるXがないと生じない、ということがわかる。

（河合隼雄『こころの処方箋』新潮社　による）

※卑下…自ら劣ったものとしていやしめること。へりくだること。

**接続語の読み取り**

特に説明的な文章では、接続語に注目すると内容が捉えやすくなる。それぞれの語句がどのような関係を表すのかを理解しておく。

| | |
|---|---|
| 順接 | 前の内容が、後の内容の原因・理由になる。（例）だから、そこで、したがって、すると |
| 逆接 | 前の内容から予想されることと逆の内容が後にくる。（例）しかし、だが、けれども、ところが |
| 並列 累加 | 内容を並べる、付け加える。（例）そして、また、しかも、および、なお |
| 対比 選択 | 前後の内容を比べる、前後のどちらかを選ぶ。（例）または、あるいは、それとも、もしくは |
| 説明 補足 | 内容をまとめたり、理由や情報を補ったりする。（例）つまり、なぜなら、ただし、たとえば |
| 転換 | 話題や観点を変える。（例）ところで、さて、では |

**例題**

□に当てはまる接続語として最も適当なものを選びなさい。

**ア** だから　**イ** しかし
**ウ** つまり　**エ** なぜなら

〔　〕

---

**確認テスト** 本文を読んで、問いに答えなさい。

**(1)** （　）に当てはまる接続語として、最も適当なものを選びなさい。

**ア** すると　**イ** ところが
**ウ** あるいは　**エ** たとえば

〔　〕

**(2)** ――線部「このような場合」が表す内容として、適当でないものを選びなさい。

**ア** 自分が持っていないものを他人が持っているときに、羨ましく感じる場合。
**イ** 自分が持っていないものを他人が持っていても、別に何も感じない場合。
**ウ** 自分の持っていないものを他人が持っていて、その人を尊敬する場合。

〔　〕